



大学院だより

令和6年度大学院歯学研究科入学式

令和6年度の東京歯科大学大学院歯学研究科入学式は、令和6年4月2日（火）午前10時より、32名の新入大学院生を迎えました。澁川大学院教務部長による新入生の呼名紹介の後、一戸達也学長と齋藤淳大学院研究科長からの新入生を激励する訓辞をいただきました。さらに、東京歯科大学同窓会富山雅史会長にもご挨拶をしていただきました。そして、最後に新入生を代表して奥村哲嗣大学院生（口腔病態外科学講座）が宣誓し、入学式は終了しました。入学式終了後、福田謙一学生部長による研究の捏造、改ざん、盗用など問題行動による影響が如何なるものかなど、研究に取り組む上での倫理に関する講習会と大学院生活の注意点や履修に関するオリエンテーションが行われました。



一戸達也学長からの新入生を激励する訓辞



齋藤淳大学院研究科長からの新入生を激励する訓辞



新入生を代表奥村哲嗣大学院生（口腔病態外科学講座）の宣誓

令和6年度東京歯科大学大学院歯学研究科入学者一覧

番号	氏名	所属講座
1	Anjali Arpan	歯科矯正学
2	伊藤 聡吾	口腔病態外科学
3	今井 美佑	口腔健康科学
4	江澤 美穂	口腔腫瘍外科学
5	Erik-Masao Boller	口腔健康科学
6	大川内 裕理	老年歯科補綴学
7	奥村 哲嗣	口腔病態外科学
8	小幡 亮太	口腔腫瘍外科学
9	金子 航大	オーラルメディシン・病院歯科学
10	亀岡 瑞輝	歯科矯正学
11	木村 彩花	口腔インプラント学
12	久保田理絵	歯科麻酔学
13	志田 菜奈	歯科放射線学

14	志邨 晃祐	クラウンブリッジ補綴学
15	鈴木 量己	歯科麻酔学
16	関谷 凌	解剖学
17	高野 峻大	クラウンブリッジ補綴学
18	田中 詩織	口腔腫瘍外科学
19	千葉あやか	歯内療法学
20	中嶋 梓	老年歯科補綴学
21	西村まりな	小児歯科学
22	野田 真緒	歯科矯正学
23	橋本 涉	歯科麻酔学
24	藤島 彩加	口腔顎顔面外科学
25	藤原 龍	パーシャルデンチャー補綴学
26	船橋 桂子	口腔腫瘍外科学
27	眞野 祥	歯周病学
28	宮田 貴楓	小児歯科学

29	森 智哉	法歯学・法人類学
30	森田 一真	解剖学
31	森本 和樹	口腔顎顔面外科学
32	矢野 詩織	歯科矯正学

令和6年度大学院新入生 学外総合セミナー開催



令和6年度大学院新入生学外総合セミナーは、2024年5月30日（木）～6月1日（土）の2泊3日で、「御殿場高原ホテル・時の栖 Hotel Brush upにて行われました。参加者は、新入大学院生32名と齋藤淳大学院研究科長(欧州出張のため、2日目から参加)、澁川義幸大学院教務部長、福田謙一大学院学生部長及び堂地一利大学院事務の大学院関係者の他、病理学講座の松坂賢一教授、口腔インプラント学講座の佐々木穂高教授に同行していただきました。また、外部の特別ゲストとして、有限会社オービタルエンジニアリング社長山口耕司氏にご参加いただきました。参加者は、5月30日木曜日の9時に全員水道橋に集合して、バスにて御殿場に向けて出発しました。初日は、まずまずの晴天でした。予定通り、お昼前に現地に到着し、昼食後、各大学院生の自己紹介が行わ

れました。各々大学院に入学した動機や最近特に取り組んでいること、興味があることなど、しっかりと自己アピールをしていました。



親睦の開始に各々が自己をしっかりアピールしました！

各自の自己紹介に続いて、山口耕司氏の講演が行われました。山口耕司氏は、宇宙工学の研究者から起業した起業家で、研究に夢中になったきっかけや海外でのユニークな経験の紹介とともに、研究とは何か、大学院生は何をすべきか、研究を開始するに当たって研究者はどのように行動すべきかなどとともに研究の楽しさについても、熱心に語られました。とても貴重なお話で、有意義な時間となりました。



研究の楽しさについての熱弁される山口氏と熱心に聴講する大学院新入生

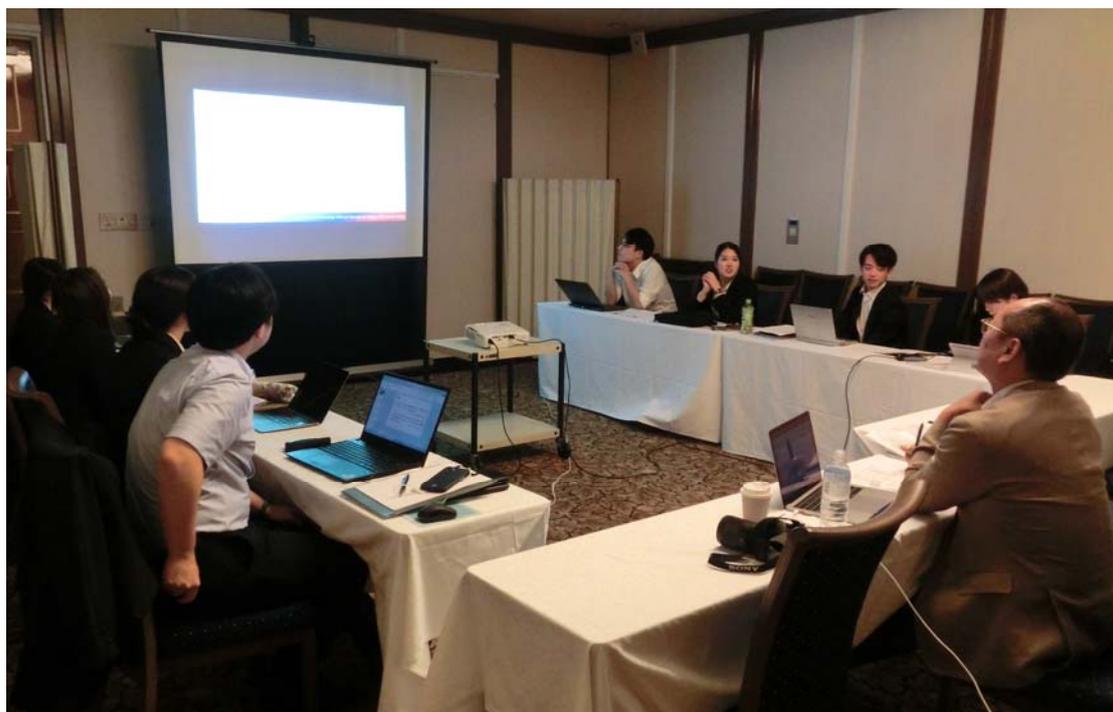
山口氏に続いて、松坂先生の講演が行われました。松坂先生がこれまでに遂行されてきた研究結果から、研究とは何か、また研究に取り組むための心構えなどともに海外留学での楽しかったことや海外の研究者との交流などのお話をされました。とても、有意義な時間となりました。



研究者のあり方についての熱弁される松坂先生と熱心に聴講する大学院新入生

2日目は、4班に別れて英語論文抄読発表会が行われました。今年も、素晴らしい発表ばかりで、優秀賞の選抜には各班とも悩んだようでした。事前の準備においての各講座のきめ細かいご指導に大学院一同、大変敬服致しました。





英文抄読発表会、熱のこもった発表が行われ、素晴らしい会になりました。

午後からは、福田学生部長が、今後の自分の研究を遂行していく上での研究のデザインの立て方についてお話し、「身近なCQを解決する研究を作ってみよう」というグループ学習の課題を提示しました。その課題に対して、5班に別れてグループ討論が行われました。3日目の課題に対する討論の結果発表に備えて、パワーポイント制作が熱心に行われました。







各班とも熱心に討論しました。

第3日目は、課題学習に対するグループごとの発表が行われました。どのグループも、魅力的なCQを掲げ、また印象的で素晴らしいプレゼンでした。



説得力のある印象的なプレゼンでした。



課題の発表後、齋藤研究科長からのご指摘を熱心に聞く大学院生



優秀賞を獲得した小班



研究者への取り組み方についての熱弁される佐々木先生と熱心に聴講する大学院新入生

最終日に佐々木先生の講演が行われました。佐々木先生のこれまでに歩んでこられた研究生活から、研究の楽しさや研究への取り組み方などのお話をされました。とても、有意義な時間となりました。

新入大学院生にとって、大変充実した3日間でありました。英文学術雑誌抄読発表会において優秀賞に選抜された小幡 亮太大学院生、藤島彩加大学院生、船橋桂子大学院生、眞野祥大学院生の4名に本セミナーの感想記を書いていただきました。

大学院新入生学外総合セミナーを終えて

口腔腫瘍外科学講座 小幡 亮太

この度、5月30日～6月1日かけて開催された大学院新入生学外総合セミナーに参加させて頂きました。セミナーでは山口耕司先生、松坂賢一教授、佐々木穂高教授による講演、英文学術誌発表、提示された課題に対するグループ討議及び発表が行われ

ました。山口先生には宇宙開発事業におけるご講演をいただき、自分が興味を持つこととそれを追求する情熱と大切さを教えて頂きました。松坂先生からは、大学院在学中、大学院卒業後の進路まで多岐に渡りご講演くださいました。これから始まる大学院生活の目標やゴールを設定し、臨床や研究に邁進したいと強く感じました。佐々木先生のご講演からは様々な人との繋がりを感じました。これからの歯科医師人生の中で、人との繋がりは自分にとって大きな糧と伺いました。何事にも全力で取り組むことで、人々と支え合い課題に取り組むことが今後求められてくるのではないかと感じました。

英文学術誌発表では、セミナーに参加する前から慣れない英語論文に悪戦苦闘しながらも、研究の方法や解析、今後の臨床応用について論文を読み込み、スライドを作成しました。当日は学会発表さながらの雰囲気の中で、自分が準備してきたものを十分に伝えることができたのではないかと思います。また他の講座の先生の論文発表を拝聴して、普段は触れる機会の少ない分野は新鮮で、とても勉強になりました。

グループ討議では、課題として臨床研究の研究デザインの作成が課題でした。テーマが歯科医療の分野に限ったものではなかったため、テーマの決定にとっても苦労しましたが、各班員が協力して、テーマや研究手技、方法について討論することができました。研究のデザイン作成を実際に行うことで、研究の流れの理解が深まるとともに、多様な観点からの影響を考慮することの難しさを実感しました。

懇親会では講座はもちろん、出身大学や学年の壁を超えて、これから4年間切磋琢磨し合える仲間との繋がりを作ることもできました。

今回の学外セミナーで経験させていただいたことを今後の大学院生活に活かしていきたいと考えます。

最後に、セミナー開催にご尽力頂きました先生方及び大学院事務局の皆様、英文学術発表にあたりご指導賜りました口腔腫瘍外科学講座の先生方に感謝申し上げます。

学外セミナーを終えて

口腔顎顔面外科学講座 藤島彩加

この度大学院学外セミナーに参加し、英文発表賞を受賞させていただきました。論文自体に慣れていなかった私は、英文論文を選択し、統計を学び、プレゼンテーション

の準備をするというすべての過程で苦戦しました。最終的に選択した論文は内容が難しく、まず論文内容を理解し自分のものにするまでにかなりの時間と労力を消費しました。しかしこれから、研究内容を決定し、論文を製作する過程での必要なことを学べたと思います。最後までご指導くださった講座内の先生方には大変感謝をしております。

セミナーでは講演を聴く時間や、研究テーマ発表の討論など同期大学院生と関わる時間が多く設けられていました。講演では引率していただいた先生方の大学院生時代のことや研究に関して大切なことを教えていただきました。興味のあることを研究する楽しさや具体的に研究内容を決定する上で必要なことを学び、大学院生活をよりリアルに想像することができました。討論では教えていただいた内容をふまえ、具体的に仮の研究内容決定を行い、発表を行いました。そこでも先生方から自分たちの未熟な点をご指摘いただき学ぶことができました。

他科の先生方とお話しできる機会は少なかったですが歯科において他科との連携は必要となってくるので、セミナーを通して関わられたことは良かったと思います。

大学院学外セミナーを通して

口腔腫瘍外科学講座 大学院1年 船橋桂子

英語論文。英語と聞くだけで苦手意識を抱いてしまう中、大学院入学後初めての課題として出されました。膨大な英語論文の中、自分が興味を湧いた論文を探すだけでも必死でした。文明の利器(インターネット翻訳ツール)を多用し、お酒の種類と骨密度に関するとても興味の惹かれる論文と出会うことができました。確認のため自分でも英語論文を解読し読み進める中で、翻訳ツールは完全に信用しない方がいいという発見がありました。その後内容を整理し、指導してくださる先生と議論を重ねていく上で、聴者の理解を得る為に必要な情報と不要な情報を取捨選択し、短時間でスライドの内容が把握できるような工夫をすることを学ばせて頂きました。講座の先生方にもご確認頂き、色々なフィードバックを頂いたことで大学院学外セミナーでの発表を楽しみに感じることができました。

辿り着いた御殿場研修場にて、まずは先生方からの貴重な講演にて今後院生として過ごしてゆく事に漠然とした想像だったものを、やや具体的に考える事ができました。夕食のビールが美味しく、周囲とやや打ち解け緊張がほぐれた所でいよいよ発表となりました。発表は楽しく行えましたが、専攻の違う先生方の発表も新鮮で興味深く楽しむ事ができました。また自分達で問題に対し研究計画を考える研修にて、錚々たる先生方からフィードバックを頂きとても勉強になりました。

この研修を通して、多くの事を学び経験できたと共に今後も大学院生活を通して研鑽を重ねていきたいと強く感じる事ができました。最後になりますが、ご指導下さいました先生方並びに貴重な機会を設けてくださった先生方に心よりの感謝申し上げます。引き続きご指導ご鞭撻頂けますと幸いです。

大学院学外セミナーを終えて

歯周病学講座 眞野 祥

この度、大学院1年生が一堂に会する機会として開催された大学院学外セミナーに参加いたしました。この経験は、大学院生としての歩みの礎を築く貴重な機会となりました。学外セミナーは、富士山を眼前に望める自然豊かな御殿場高原時之栖にて行われ、到着してすぐ、これから共に研鑽し合う同学の友と円卓を囲み、食事をしながら各々がこれから目指す道や想いを語り合いました。食事の後に行われた講演では、教授方の大学院生時代の経験や研究に対する姿勢や情熱、心構えについて学び、非常に感銘を受けました。これらの講演で伺った言葉の一つ一つが、今後の研究生生活における重要な指針となるものでした。英文学術誌発表は、各自が専攻分野に関連する英語論文を選定し、その内容を発表というものです。事前準備として、論文の内容を深く理解し、記述されている実験手法や統計解析など、多岐にわたる内容を把握するために多くの文献を調べることで、専門分野に対する理解が一層深まりました。また、発表後の質疑応答や他分野の方々の発表を聞くことで、新たな知識や視点を得る事ができたと考えております。グループディスカッションでは、新規性のある研究テーマを決定し、研究の目的や手法について議論しました。私たちのグループは、歯科へのAIの応用について議論し、具体的な研究計画を立案しました。このディスカッションは、異なる視点やアイデアを持つ仲間との意見交換がいかにか重要かを実感する機会と

なりました。グループのメンバーと協力し合いながら、目標に向かって進む過程は非常に有意義であり、今後の研究活動にも大いに役立つと感じました。この学外セミナーで得た繋がりもまた大きな財産となり、普段はなかなか接することのない他の講座の学生と親睦を深め、共に学び合いました。これからの大学院生活においても、今回の経験を踏まえ同期の仲間たちと切磋琢磨していきます。今回の学外セミナーを企画・運営してくださった先生方や事務の皆様には心から感謝申し上げます。この貴重な経験を糧に、今後の研究活動に全力で取り組んでいく所存です。大学院生活のスタートとして、このセミナーで得た学びや気づきを活かし、今回の学外セミナーで出会った仲間たちと共に切磋琢磨しながら、研鑽を続けていこうと思います。

編集後記

本年度は、32名の大学院生が入学してきました。将来の歯科界を背負う一流の歯科専門家を目指して、頑張っていたいただきたいものです。今年の学外セミナーは、齋藤研究科長が学命によるスイス出張のため、2日目からの参加になりましたが、外部からお迎えした山口氏をはじめ松坂教授、佐々木教授の素晴らしい講演によって、充実し時を過ごせました。（福田 記）

